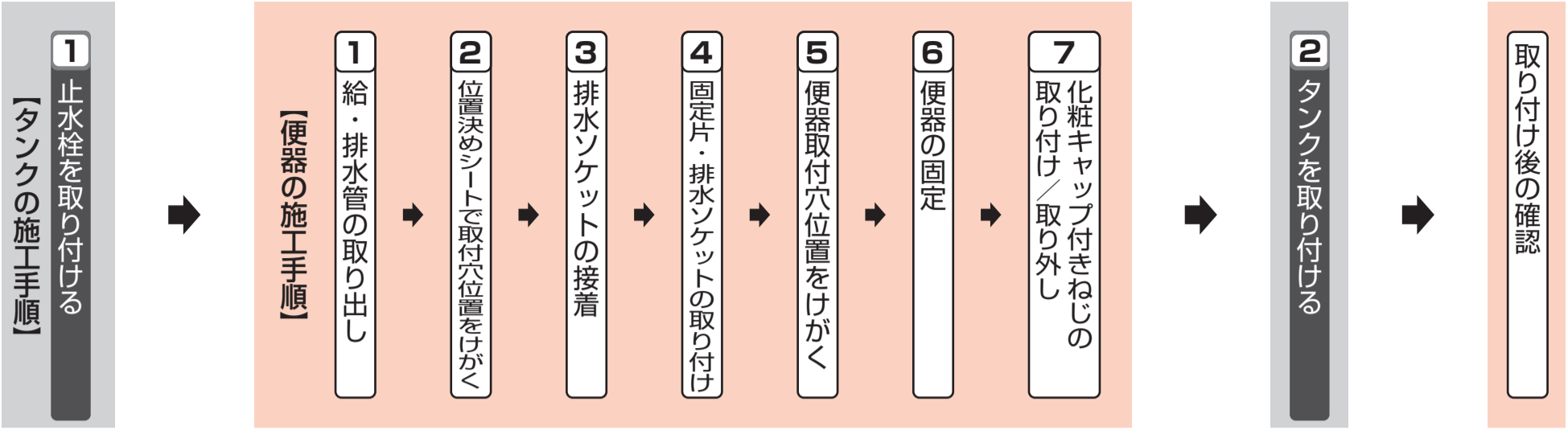
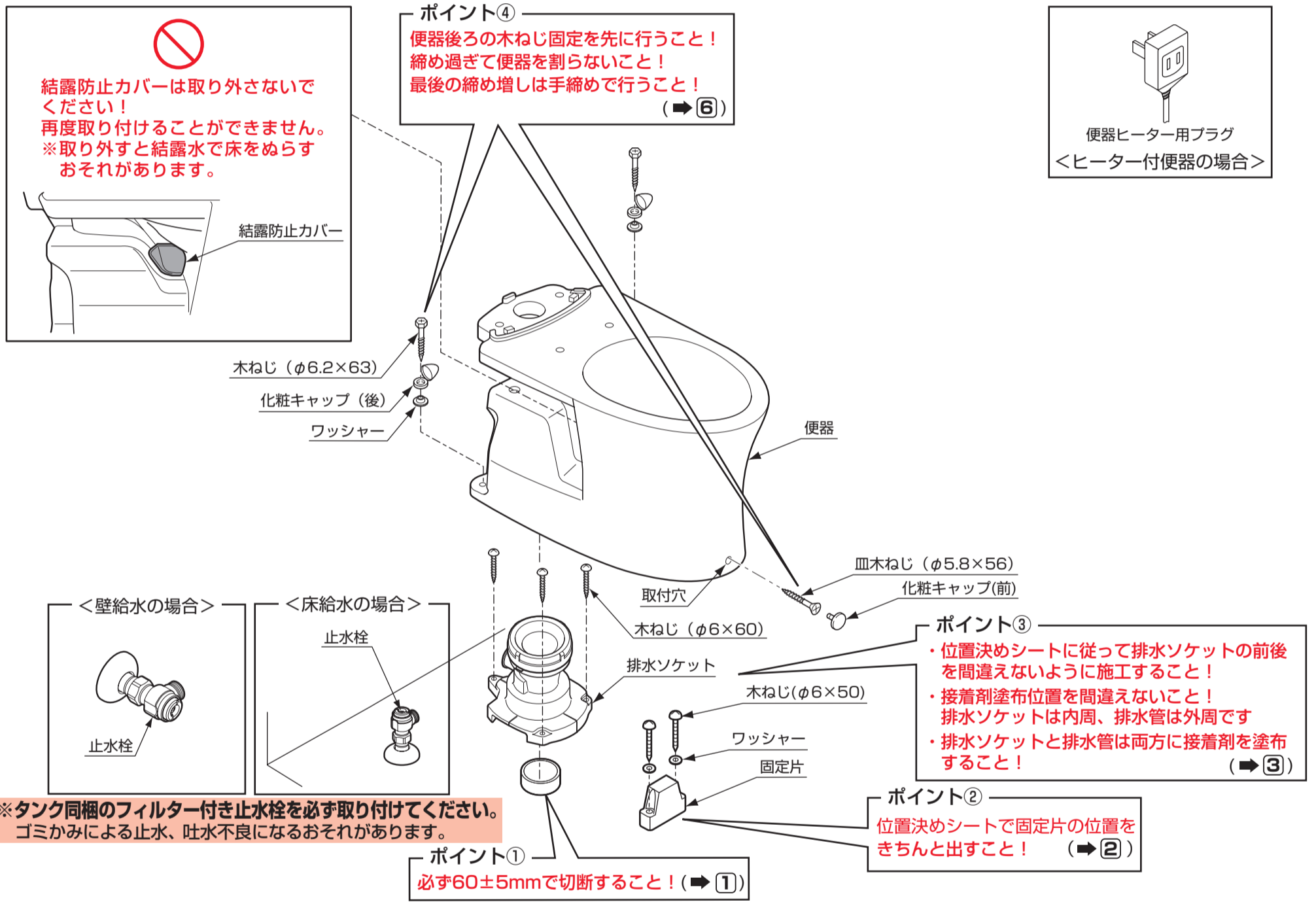


# 施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。(      は本紙、      はタンクの施工説明書を参照ください)



## 各部のなまえと施工のポイント

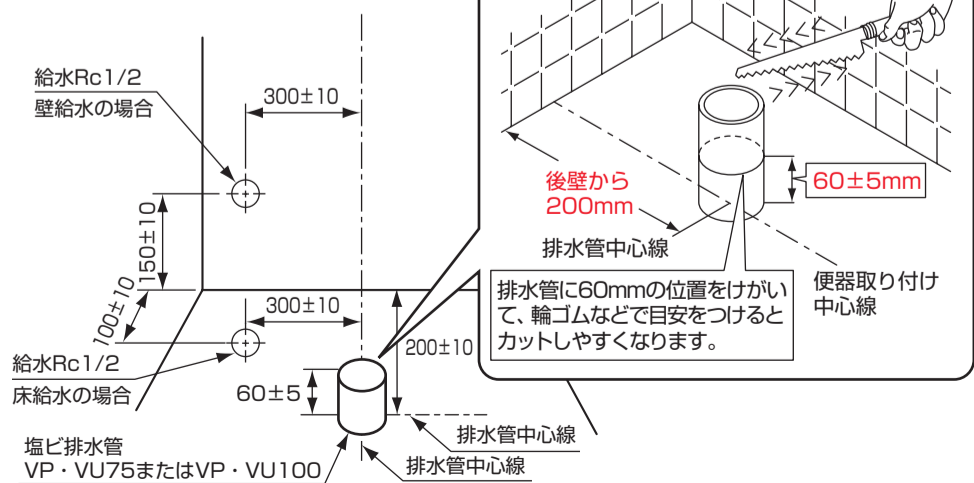


## 取付方法

### ① 給・排水管の取り出し

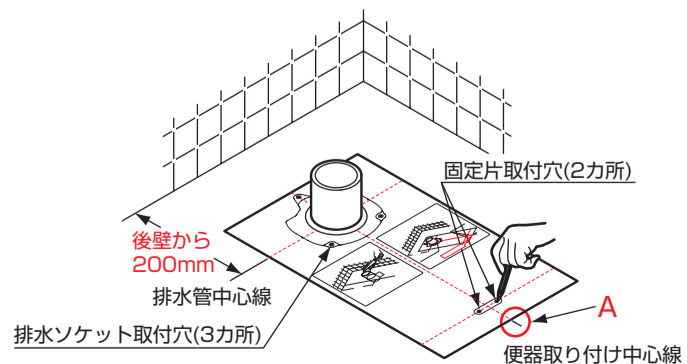
給・排水管を所定の位置に取り出す。

(単位：mm)



### ② 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- 位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。  
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- 固定片取付穴位置および排水ソケット取付穴位置 (5カ所) をけがく。
- 鉛筆など (あとで消せるもの) で下図A (便器取り付け中心線) に印をつける。
- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。  
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

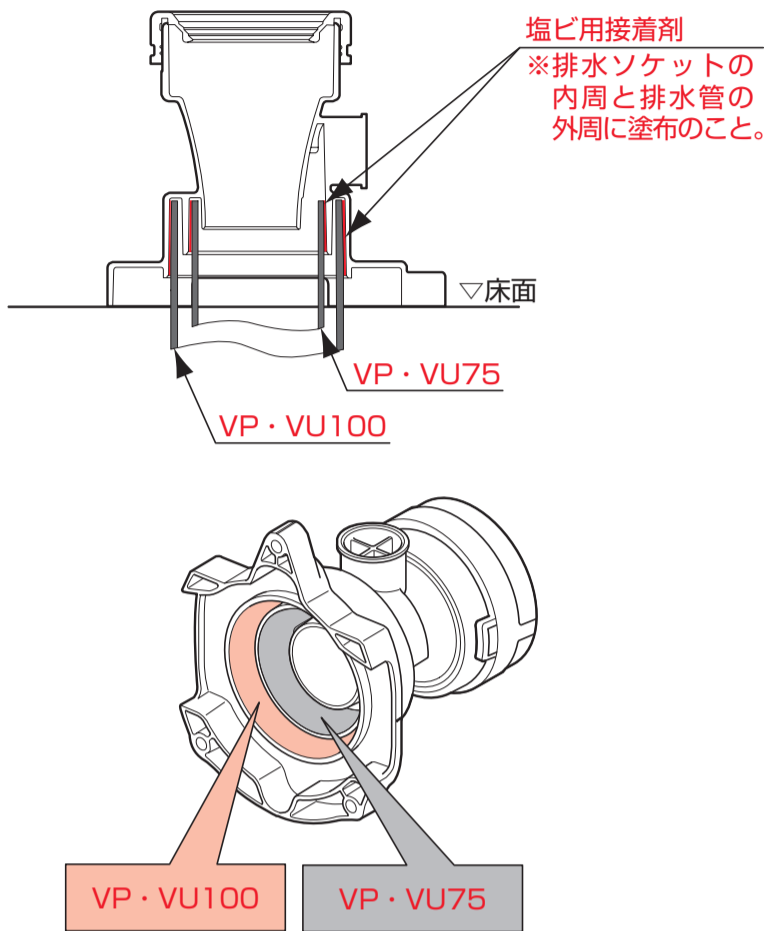


### 3 排水ソケットの接着

- ①位置決めシートの枠線に合うように排水ソケットを置き、前後を確認する。
  - ②排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケット下面が床面につくまで、排水ソケットを押し込む。
- ※そのとき、けがいた穴の位置、中心線にあわせて置いてください。

#### 接着材塗布位置

<ソケットの代表例>



- ※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。  
 ※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

#### 注意

##### 接着剤塗布位置を確認する

排水管の種類によって異なりますのでご注意ください。また接着剤塗布面は、排水ソケット内周、排水管外周となります。間違えますと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。



##### 接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する

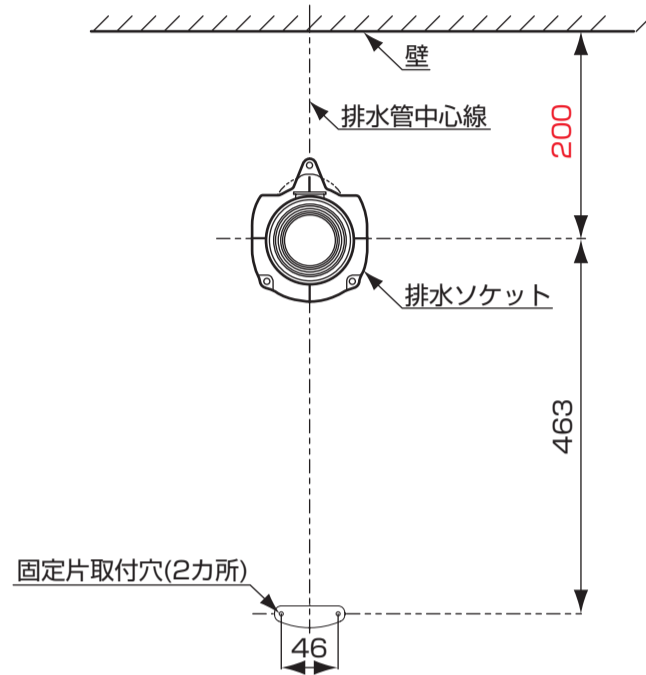
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

##### 排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込む

押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

#### <便器の取付寸法>

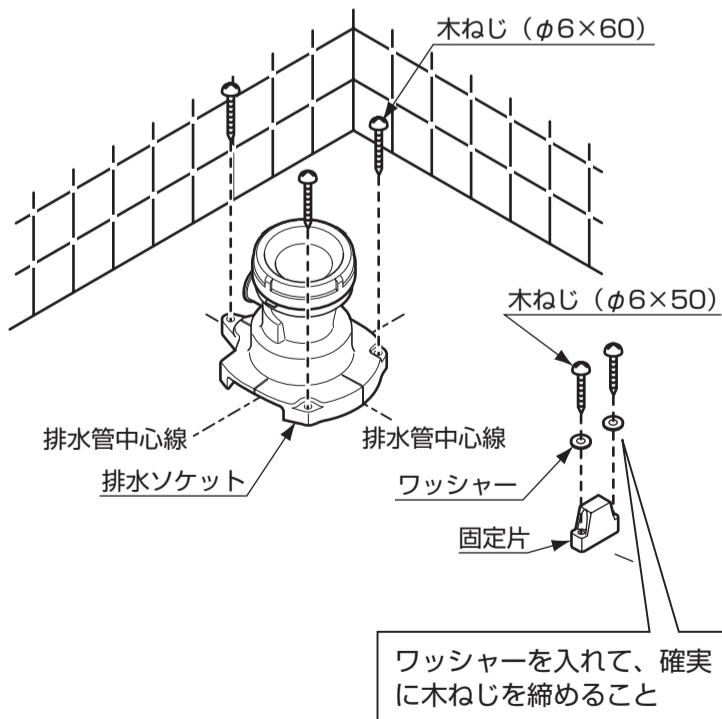
(単位：mm)



※間違った方向に取り付けると便器の施工ができなくなります。

### 4 固定片・排水ソケットの取り付け

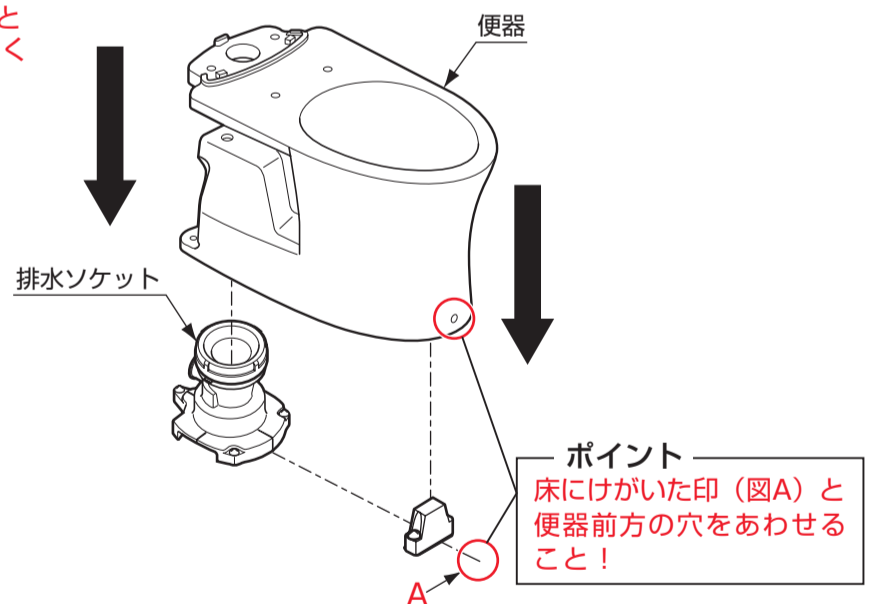
- ①排水ソケットの取付穴に木ねじを入れ、3カ所を確実に締める。
- ②固定片を取り付ける。



### 5 便器取付穴位置をけがく

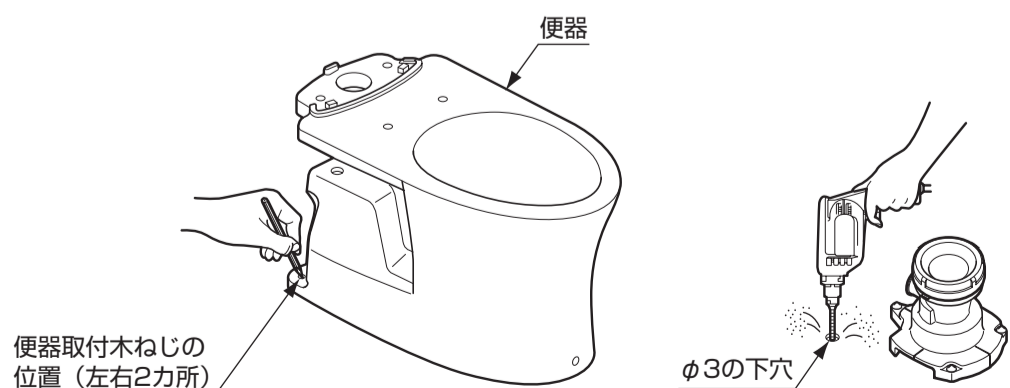
- ①便器を排水ソケットに差し込む。

※床にけがいた印 (図A) と便器前方の穴をあわせてください。



- ②便器を平置きし、便器取付木ねじの位置 (左右2カ所) をけがく。

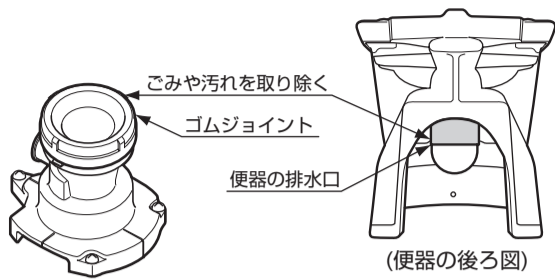
- ③便器を外して、下穴をあける。  
 ※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



## 6 便器の固定

① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。



**注意**

最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

**注意**

便器後部の固定を必ず先に行う

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

② 便器後側の取付穴 (2カ所) を木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ (後) で固定する。

※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

③ 便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ (前) を差し込む。

※便器前側を固定する際は、床にけがいた印 (図A) と便器前方の穴をあわせてください。

※最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

木ねじ (φ6.2×63)

化粧キャップ (後)

ワッシャー

※ワッシャーの向きを間違えないこと。

ゴムジョイントがきちんと取り付けられていることを確認してください。

便器本体

皿木ねじ (φ5.8×56)

化粧キャップ (前)

ポイント

床にけがいた印 (図A) と便器前方の穴をあわせること!

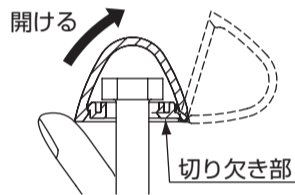
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

## 7 化粧キャップ付きねじの取り付け／取り外し

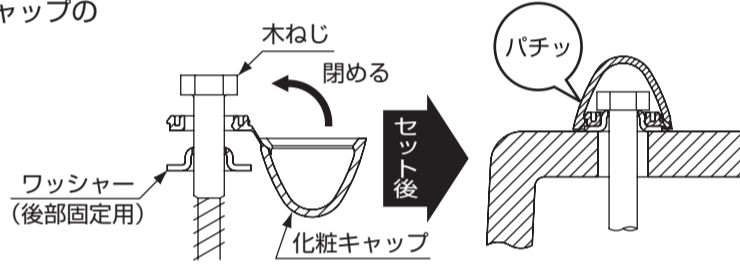
<取り付けかた>

① 最初に化粧キャップを開ける。

木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。

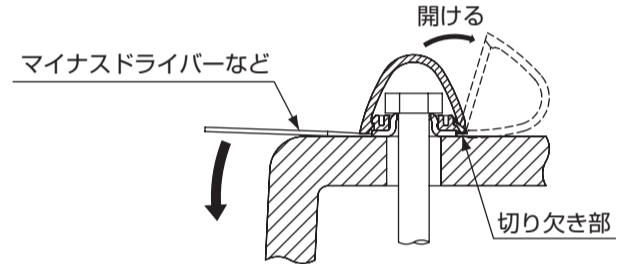


② 木ねじを取り付けたあと、化粧キャップを矢印の方向に「パチッ」と音がするまで押し込む。



<取り外しかた>

マイナスドライバーなどを、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押し込んで開ける。



## タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

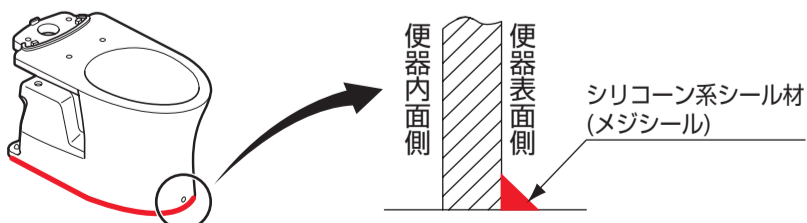
## 取り付け後の確認

- ・ 試運転 (洗浄) 後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・ 陶器表面に傷がないことを確認してください。陶器表面に金属類 (時計のバンド、ベルトのバックルなど) が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・ 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ (コーキング剤、配管用接着剤など) の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤 (研磨剤なし) を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング (木質系) を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング (木質系) を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材 (メジシール) を充てんすることをおすすめします。



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。